



## 2月定例議会(2021/03/09) 本会議にて議案質疑を行いました！

### テーマ① 地域の防犯力向上の取り組み強化 【地域自主防犯活動活発化促進事業】

#### 問題意識

侵入盗や自動車盗・特殊詐欺など身近な犯罪を防ごうと取り組む地域自主防犯団体(町内会、NPO、ボランティア団体など)が活動するための費用を助成する「地域自主防犯活動活発化促進事業」。

しかしここ2年ほど応募数が減少し、かつ4年間の事業実績としても県下69市町村のうち28市町村の団体の実施にとどまり、事業利活用に温度差がある。(大治町はここ4年間で3団体が活用)

【参考】地域自主防犯団体登録件数:3,707団体



**Q** より多くの市区町村・団体に利活用してもらうため  
事業周知を含め今後どのように取り組むのか伺う。

**県当局** 策定中の次期「あいち地域戦略2023」の中でも、  
自主防犯団体の設立促進とその活動の活発化支援を  
主要事業に位置付けている。

県内すべての市町村や警察署に協力を仰ぎ、団体  
への周知とサポートをお願いし、四季の県民運動等  
様々な機会と捉え、取り組みを深めていく。

**要望** 特にこれまで事業を利活用していない市区町村に  
対しては、応募方法や報告書作成時のフォローアップ  
を含めたサポートをするよう働きかけてほしい。

## 農林水産委員会での一般質問要旨

### ● 農業への企業の新規参入について

#### 問題意識

今後、スマート農業の普及で、高品質・高効率・高収益化が進み、ビジネスとして魅力あるものとなれば、農業への参入を考える企業が増えるかもしれない。今のうちに調査研究と身構えを進める必要があるのでは…。

**Q.** 県はどのように認識し、これまでどう取り組んできた？

A. 地域の農業を支える担い手、そして雇用創出につながるものとして、農起業支援センターで積極的に支援。

**Q.** 実際に何社相談に来て、相談後、何社参入したのか？

A. 2019年度は、相談企業:23社、参入企業:3社。  
(過去5年間の平均 相談企業:30社、参入企業:3社)

**Q.** 実際の参入企業数が少なく感じるが、課題をどう分析し、今後どのように支援していくのか？

A. 農業経営ビジョンの明確化が課題。来年度から農業大学校に新たな相談窓口を設置し、情報提供や経営モデルを提示するなど、きめ細かな対応をしていきたい。

## ポストコロナに向けた 令和3年度 当初予算の概要は下記の通りです。

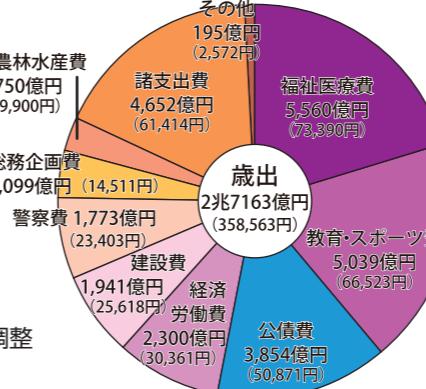


### 県独自で医療機関の支援を強化 医療提供体制を確保します

1. コロナのために働く医療従事者を支援  
◎医療従事者の手当や賃金増への支援  
◎100~400万円/コロナ患者1人
2. 民間検査機関を活用したPCR検査体制の確保  
◎検査費の本人負担分を公費負担  
◎PCR検査機器の整備に対する支援
3. 回復患者を受け入れる医療機関に応援金を交付  
◎10万円/患者1人あたり
4. ワクチン接種体制を整備し安心安全を確保  
◎医療従事者等への優先接種体制の整備  
◎副反応に関する相談窓口を専門病院に設置  
(※県民から相談を受けた医師のための窓口)

#### 歳出のポイント

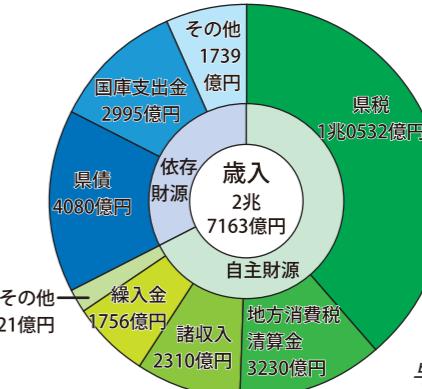
まずはコロナ感染症の克服に全力。  
そしてポストコロナを見据えた社会基盤整備やジブリパーク整備など成長戦略のための予算を計上。  
併せて非常時の財政調整基金も一定額を確保。



#### 歳入のポイント

【県税の内訳】  
県民税 個人 2,961億円(-144億円)  
法人 232億円(-108億円)  
事業税 個人 112億円(-33億円)  
法人 2,342億円(-576億円)  
その他 4,885億円(-276億円)  
合計 1兆532億円(-1,137億円)

コロナ禍の税収への影響が  
本格的に現れ、県税と地方譲  
与税合計で1,618億円の大幅減。



### 大規模災害時の対応を強化 ハード・ソフト両面の防災対策

1. ゼロメートル地帯の  
広域防災活動拠点の整備  
◎愛西市 旧永和荘跡地  
◎弥富市 海南こどもの国 他
2. 後方支援を担う基幹的な広域防災拠点の整備  
◎候補地: 愛知県豊山町(名古屋空港北西部)
3. 防災ボランティア活動基金を創設  
◎大規模災害時に被災者支援活動に参加した  
グループ・団体へ活動に要した費用を一部助成

対象経費	交通費・宿泊費(食費は除く)・活動費		
対象者	5人以上の団体/グループで代表者が20歳以上		
対象の活動 (県指定)	区分	県内に拠点を置く団体	県外に拠点を置く団体
	被災地 県外	対象	対象外



### 愛知県の未来を形作る 大型プロジェクトを着実に推進

コロナ後を見据え、愛知県の持続的な経済成長を確実なものにするため、産業・観光振興を下支えする、「愛知に元気を取り戻す」大型プロジェクトを下記スケジュールに合わせて着実に推進

時期	事業内容
2022年秋	ジブリパーク 開業 (先行3エリア)
2023年秋	ジブリパーク 開業 (残り2エリア)
2024年秋	ステーションAI(※) 供用開始
2025年夏	愛知県新体育館 開業
2026年秋	アジア・アジパラ競技大会 開催
2027年	リニア中央新幹線(東京～名古屋) 開通

※ステーションAI:スタートアップ企業の創出・育成  
・展開を図るための愛知県独自の拠点施設